

「ただみ観察の森」観察会を開催 蒲生集落あがりこブナの森を散策



▲解説を聞きながら、あがりこブナの森を散策する参加者

11月1日、只見地区の自然環境や動植物等を身近に感じてもらうことを目的とした「ただみ観察の森」観察会が、只見地区地域づくり委員会などの共催により、蒲生集落あがりこブナの森で行われました。

三瓶利之さん(蒲生)とブナセンター指導員が案内人を務め、希少植物や昆虫、あがりこの樹形の成り立ちなどについて解説しました。

散策後は、ブナセンター企画展「只見の野生生物とその生態」を見学し、只見町の自然や文化について、知識を深めました。

地域の環境美化に取り組む 朝日地区「ちょボラごみ拾い」

11月8日、朝日地区地域づくり委員会主催の「ちょボラごみ拾い」が開催され、子どもから大人まで約40人が参加しました。

当日の天気が心配されましたが、開始時には雨があがり、朝日地区内で10コースに分かれ、国道沿いや県道などで丹念にごみ拾いを行い、集めたごみは15袋分となりました。

この事業は、景観・環境美化推進を目的に例年行われていますので、興味のある方はぜひご参加ください。



▲朝早くから参加された地域の方々



▲ご自宅で記念撮影をした横山キチヨさんご親族

100歳おめでとうございます！ 知事賀寿贈呈が行われました。

町内で100歳を迎えられた方に知事賀寿贈呈が行われました。11月9日に横山キチヨさん(黒谷)、11月11日に澤登コユキさん(叶津)に贈呈され、ご親族と一緒に記念撮影が行われました。

横山さんの長寿の秘訣は「大好きな韓国ドラマを毎日見ること」、澤登さんの長寿の秘訣は「細かいことは気にせず、何事も前向きに考えること」とのことです。

これからも、健康で長生きしてくださいね。



▲こぶし苑で記念撮影をした澤登コユキさんご親族

只見の新そばを味わう 「只見新そばまつり」が開かれました



▲間隔が広く取られたテーブルで、そばを堪能する参加者

11月14日、第28回「只見新そばまつり」が季の郷湯ら里で開催され、町内外から参加した皆さんが只見の新そばを堪能しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、例年より定員数を減らし、スタッフと参加者の間に透明シートの設置、ソーシャルディスタンスの案内などを実施しての開催となりました。

参加された方は、「只見のそばは美味しい。沢山食べられてうれしいです」と感想を話してくれました。

食材を通じて交流を 柏市のブルーベリーが学校給食に

11月18日、「学校給食食材交換事業」が行われ、ふろさと交流都市の千葉県柏市産のブルーベリーを使った給食が町内の小中学校へ提供されました。

ブルーベリーは、ジャムに加工されて提供され、児童たちは「とても美味しいです」と笑顔で味わって食べていました。

この事業は、両市町の交流と食育推進などを目的に平成24年度から実施しており、只見からは、米が柏市に提供されています。



▲パンに塗り柏市産のブルーベリージャムを味わう児童の皆さん

FTVアナウンサーによる朗読ボランティア 「よむよむふくたん」が開かれました



▲菅家アナウンサーの朗読に引きこまれる児童

11月26日、明和小学校でFTV福島テレビアナウンサーによる出張朗読ボランティア「よむよむふくたん」が開かれ、菅家ひかるアナウンサーによる声の出し方・話し方講座や朗読が行われました。

朗読が始まると、児童はあっという間に引きこまれていき、朗読を熱心に聞いていました。

菅家さんは「今の友達、これからの友達を大切に、失敗を恐れずにチャレンジして、いろいろなことを経験して成長してください。」と児童へ伝えられました。